

2. 地元産業界等と連携した実践的 PBL（課題解決型学習）を含む授業科目について

北陸学院大学社会学部社会学科および人間総合学部社会学科では、MIP (Mission Innovation Project) と称する企業及び行政と連携した課題解決型講座を授業科目として実施している。これは、FSP (Future Skills Project) 講座を本学の現状に合った形で開発されたものである。

2023 年度は下記の地元産業界等と連携し、実践的 PBL 授業を実施した。

「キャリアデザインⅠ」（1 年生前期）株式会社サンウェルズ、石川県トラック協会

「キャリアデザインⅡ」（1 年生後期）石川県少子化対策監室、株式会社ディスコ

「キャリアデザインⅢ」（2 年生前期）北陸製菓

「キャリアデザインⅣ」（2 年生後期）白山手取川ジオパーク推進協議会

「キャリアデザインⅠ」の授業目的は 2 つあり、1 つ目は、社会で必要とされる力に気づき、その運用法を知ることである。もう 1 つは、その社会で必要な力を身につけるために、大学でいかに学ぶかを自らが考え、行動することである。これらの目的に従って、授業では実際の社会が抱える課題を知り、チームでその解決に取り組む。具体的には、企業の担当者から実際に企業が直面している課題を受け取り、それを解決するためにチームで取り組む。そして、その成果について中間プレゼン・最終プレゼンを行い、企業担当者からフィードバックを受ける。

株式会社サンウェルズより提示された企業の課題「福祉・介護分野で活躍する若い人材が集まるような企画」について、世界一の高齢者社会である日本の現状に課題意識を持ち、高齢化社会を支える人材の確保・育成が急務である現状を基に、①日本の直面する「ヒト」の問題 ②①で着目した課題をできるだけ多面的に分析 ③着目した課題を解決する施策 ④③を実現するための具体的な方法について考え、問題及び課題を明確にした提案（第一次提案発表後、企業からフィードバックをうけ、第二次提案として最終発表）を行った。

石川県トラック協会より提示された課題「あなたが働きたいと考える企業は」について、運送業界が抱える諸問題を理解し、諸問題に対する現状の取り組みを踏まえて企業・働く人にも選ばれる企業について考え、問題及び課題を明確にした提案（第一次提案発表後、企業からフィードバックをうけ、第二次提案として最終発表）を行った。